

講座 「生協 10 の基本ケア」を開催しました。

主催：くらしと協同の研究所 後援：京都府生活協同組合連合会

この講座は、日本生活協同組合連合会が推奨する介護の考え方とスキル「生協 10 の基本ケア」を学ぶ講座です。「あなたの介護は誰がする？ ピンピンコロリはむずかしい!」「元気なうちに学んでおきたい介護のこと」を学びました。

■講座は 1 期 6 回 (1 回 2 時間) で 2 期開催 (1 期 2021.11/10 ～ 11/24・2 期 2022.2/9 ～ 3/2)

回	講座の内容
1 回	「生協 10 の基本ケア」の概要― 超高齢化社会ってどんな社会？ ①換気の大切さを学ぶ
2 回	「座る」大切さを知る ②床に足をつけて座る ③トイレに座る (オムツに頼らない)
3 回	「美味しそう」「気持ちいい」 ④温かい食事をする ⑤家庭浴に
4 回	「一人暮らしでも孤立しない」 ⑥座って会話をする ⑦町内におでかけする (車イス体験)
5 回	「地域で・自宅で・最後まで」 ⑧夢中になれることをする ⑨ケア会議をする ⑩ターミナルケア
6 回	「認知症を怖がらないで!」 ・認知症ケアでの大切なこと ・修了式

- 各回とも大阪福祉短期大学福祉実践研究センターの川口啓子氏、同大学の小田史氏、上山小百合氏に講師をお願いしました。
- 会場は「くらしと協同の研究所」があるコープ御所南ビル 4F 会議室。なお定員は 20 名に限定し、コロナ感染対策をおこない対面で開催しました。



講座の様子



車いす体験に出発する参加者

参加者の感想

- ・介護する側の視点で今まで考えていたということに気づけ、自分が利用する立場になった時のことを、より具体的に考えられるきっかけをくださったと思います。
- ・車椅子体験は貴重な体験でした。介助として夫を乗せて押していましたが、前がよく見えずに置いてあるものにあたってしまったことがありました。
- ・介護の道具、介護食も随分いろいろあって、そういう知識を持つことは大切だなと思っ

た。介護食、おいしかった。

当研究所の企画委員会（会員生協代表と研究者で構成）の議論をうけて、介護について学ぶ「生協 10 の基本ケア」を大阪福祉短期大学福祉実践研究センターのご協力で開催しました。参加いただいた方々から高い評価をいただきました。

この講座が会員（生協）の間に広がっていくことを願っています。開講を検討される生協、団体がございましたら、当研究所の事務局までお問合せください。

くらしと協同の研究所 2021 年度

第 5 回 くらしと協同全体研究会を開催しました

開催日時 2022 年 3 月 5 日（土）13:30 ～ 17:30（リモート開催 / 参加者 38 名）

【開催概要】

1 2021 年度 研究所主催の企画紹介

- ・ 2021 年総会記念シンポジウム（7/3（土）～ 4（日））
- ・ 『くらしと協同』を読む（合評会）9/4（土）
- ・ 第 2 回 コロナショック特別研究会 11/14（日）・講座『生協 10 の基本ケア』開講
- ・ 第 22 回生協組合員理事トップセミナー 12/4（土）
- ・ 第 5 回くらしと協同全体研究会 3/5（土）

2 当研究所の各研究会の活動報告

○基幹研究会からの報告

- ・ 次世代生協研究会 辻村英之氏（座長 京都大）、加賀美太記氏（阪南大）、玉置了氏（近畿大）
- ・ 生協労働研究会 杉本貴志氏（座長 関西大）

○公募研究会からの報告

- ・ オルタナティブ農業研究会 小池恒男氏（座長 研究所）

○自主研究会からの報告

- ・ 新しい協同の研究会 浜岡政好氏（研究所）

○コーポラティブ・ラボからの報告 片上敏喜氏（日本大）

※コーポラティブ・ラボ：協同組合及び協同組合とつながりのある研究等に関心のあるメンバーで構成

3 個人報告及びコメンテーター

- ・ 岩橋涼氏（名古屋文理大学） コメンテーター：鬼頭弥生氏（京都大学）
- ・ 長島洋介氏（ラボラトリオ株式会社） コメンテーター：近本聡子氏（愛知学泉大学）

また全体研究会では、2021 年度に発行した研究所所属研究者の著書が紹介されました。